

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■評価評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日生工業株式会社美里新工	階数	地上1F
建設地	埼玉県児玉郡美里町大字広木字吉	構造	S造
用途地域	区域区分非設定地域、防火指定なし	平均居住人員	75人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年4月24日
敷地面積	18,578 m ²	作成者	藤原 博昭
建築面積	4,694 m ²	確認日	2017年4月24日
延床面積	4,587 m ²	確認者	藤原 博昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	区域区分非設定地域に建つ工場として、建築物の環境品質を高めると同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	対象外。	Q3 室外環境(敷地内) ①外構緑化指数=34.64% ②空地率=75.3%、緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積率=29.6%
LR1 エネルギー	①BEI _m =0.59	LR3 敷地外環境 ①ライフサイクルCO ₂ 排出率=79% ②光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は設置しない。
Q2 サービス性能	①給水管: VP (B)、給湯管: SUS (C)、汚水管: VP (B)、Eは不使用。 ②軒高=3.9m以上、壁長さ比率=0.1以下	
LR2 資源・マテリアル	①LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される